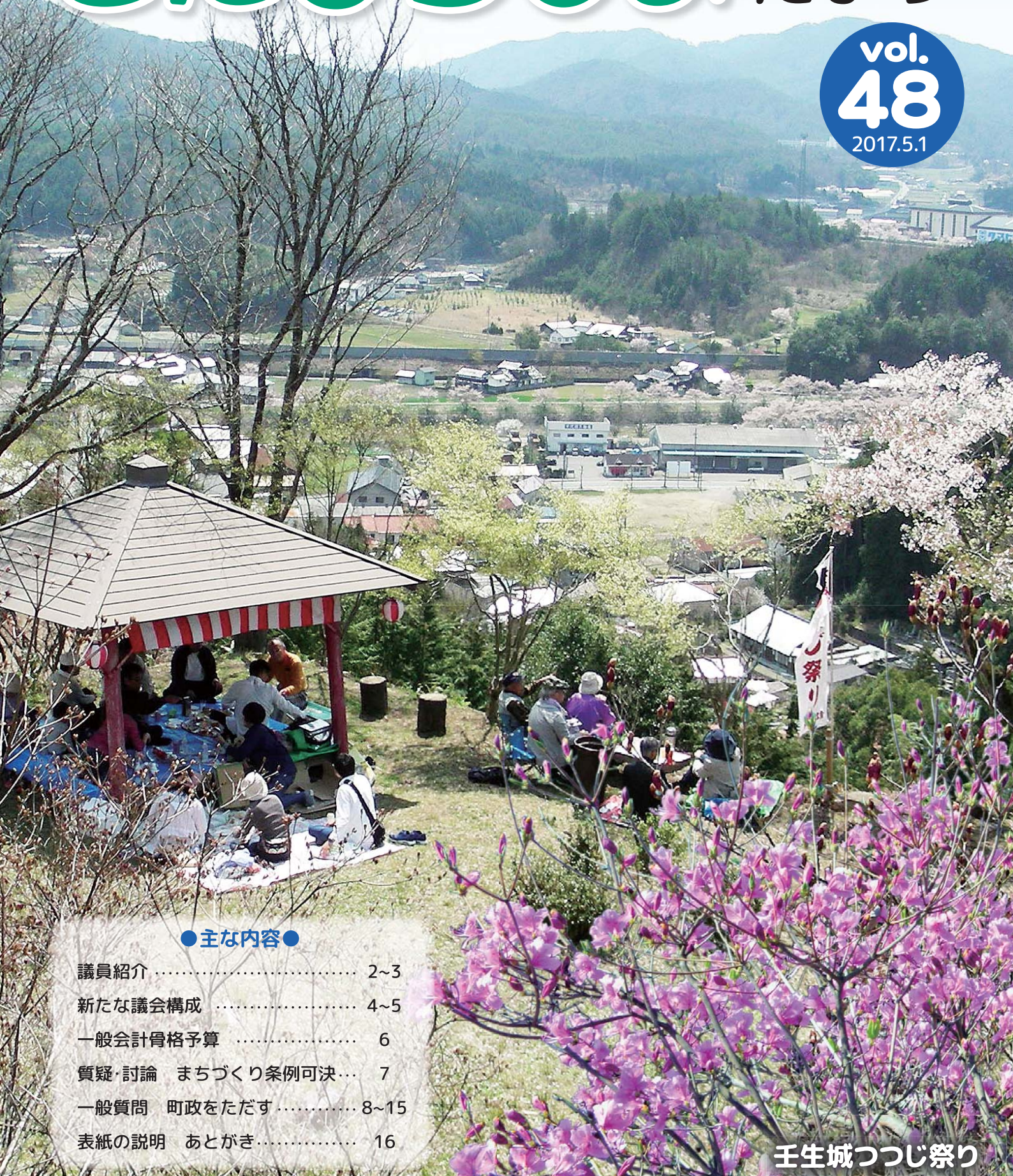


きたひろしま 議会だより

vol.
48
2017.5.1



●主な内容●

議員紹介	2~3
新たな議会構成	4~5
一般会計骨格予算	6
質疑・討論 まちづくり条例可決...	7
一般質問 町政をただす	8~15
表紙の説明 あとがき	16

壬生城つつじ祭り

議員16名です。 願います!

員選挙後、議員に就任しました。
日の初議会で決まりました。



②美濃 孝二
(みの こうじ)

暮らしも福祉も
いちばんの町が願ひ

地域の元気回復なく
町の発展はない



③真倉 和之
(まくら かずゆき)

次世代対策は
担い手の育成から

温故創新 人脈を
活用できる政治家



①副議長
浜田 芳晴
(はまだ よしはる)



④湊 俊文
(みなと としふみ)

女性の視点で喜び
多い北広島町を!



⑤敷本 弘美
(しきもと ひろみ)

「宝の町」
北広島町を元気に!

「一笑懸命」笑顔
広がる頑張りを。



⑥森脇 誠悟
(もりわき せいご)



⑧山形しのぶ
(やまがたしのぶ)



⑦宮本 裕之
(みやもと ひろゆき)

企業は人なり、
町づくりは人づくり

※○内数字は議席番号
です。

町民に期待される
議会をめざします



⑮大林 正行
(おおばやし まさゆき)

北広島町議会 よろしくお

平成29年3月5日の町議会議
なお、議長・副議長は3月21

今年も、政策提言を
していきます。



⑭中田 節雄
(なかた せつお)

帰れる北広島町を
用意していく！

日本一住みやすい
北広島町をめざせ



⑬伊藤 淳
(いとう じゅん)

老若男女が、共に
歩めるまちづくり

⑯議長
伊藤 久幸
(いとう ひさゆき)



早起きは
三文の得

⑫服部 泰征
(はっとり やすゆき)



⑪室坂 光治
(むろざか みつはる)

必ず道がある。
みつけ出しなさい。

議会人 投走攻守の
アスリート

⑩梅尾 泰文
(うめお やすふみ)



⑨亀岡 純一
(かめおか じゅんいち)



●常任委員会

議員はいずれかの常任委員会に所属し、本会議で付託された議案等を審査します。



総務常任委員会 (定数5)

危機管理、総務、財政、企画、税務、会計



◎中田 節雄
川西 (千代田)
☎0826-72-8639



○服部 泰征
丁保余原 (千代田)
☎0826-72-3177



森脇 誠悟
川戸 (千代田)
☎0826-72-5666



亀岡 純一
荒神原 (芸北)
☎050-5812-1839



梅尾 泰文
有田 (千代田)
☎0826-72-2082



文教厚生常任委員会 (定数5)

町民、福祉、保健、教育



◎大林 正行
本地 (千代田)
☎0826-72-3214



○山形 しのぶ
丁保余原 (千代田)
☎0826-72-4123



敷本 弘美
川戸 (千代田)
☎0826-72-5569



室坂 光治
都志見 (豊平)
☎0826-84-0559



伊藤 淳
岩戸 (大朝)
☎050-5812-2524

新たな議会構成

(平成29年3月21日現在)

◎は委員長、○は副委員長です。



産業建設常任委員会 (定数5)

農林、建設、上下水道、商工観光、国土調査



◎宮本 裕之
土橋 (芸北)
☎0826-35-0010



○湊 俊文
壬生 (千代田)
☎050-5812-4682



浜田 芳晴
阿坂 (豊平)
☎0826-84-0686



美濃 孝二
今田 (千代田)
☎0826-72-2238



真倉 和之
後有田 (千代田)
☎0826-72-2900



議会運営委員会 (定数7)

議会の円滑な運営と効率的な議事の進行を図るため、本会議や委員会の具体的な運営方法等に係る決定を行う。



◎梅尾 泰文



○美濃 孝二



敷本 弘美



浜田 芳晴



中田 節雄



大林 正行



宮本 裕之

議長



伊藤 久幸
新庄 (大朝)
☎0826-82-3022

監査委員



森脇 誠悟

2017年度 一般会計骨格予算144億1000万円

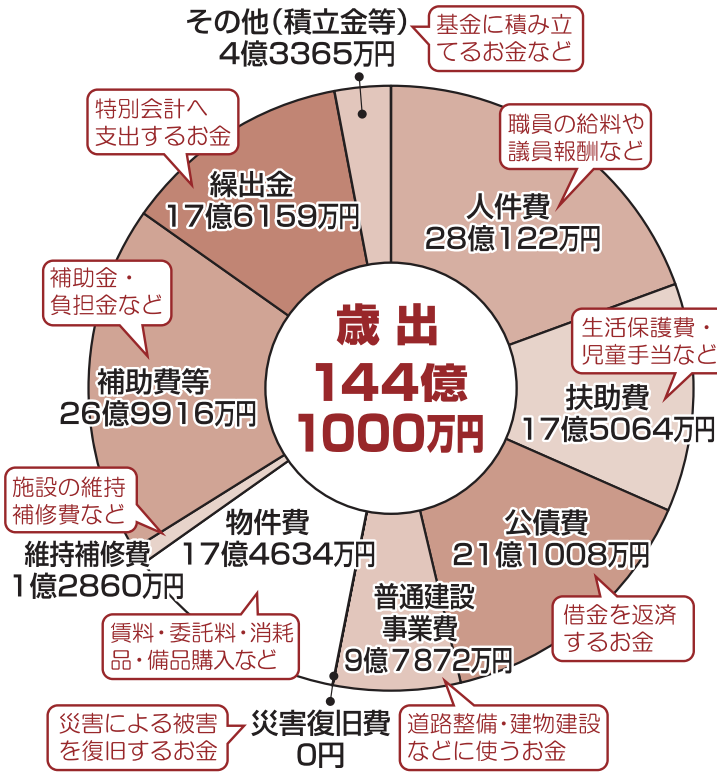
町長選控え 新規事業等は6月議会で肉付け

2月2日から10日まで開かれた町議会では、町長選挙を控えていたため継続事業や義務的経費等、最小限度の経費を中心とした骨格予算として提案され可決した。主な事業は以下の通り。

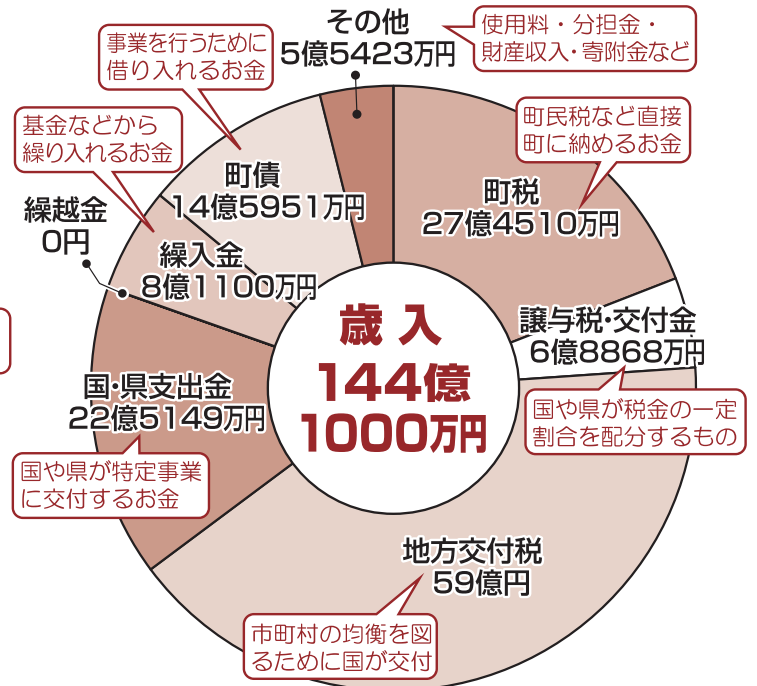
財源確保のため財政調整基金4億5000万円を含む8億1100万円を基金から取り崩し、政策的経費や新規事業等は選挙後の6月議会で肉付け予算として提出される予定である。

町長選挙後の3月臨時議会において「どんぐり荘改修」事業を含む、平成28年度3月補正予算（総額7000万円）が提案され可決した。

使いみち



町に入るお金(財源)



大朝体育館改修 2億6214万円



産地パワーアップ事業補助金 2361万円

新規就農者へのハウスや機械整備に対する支援



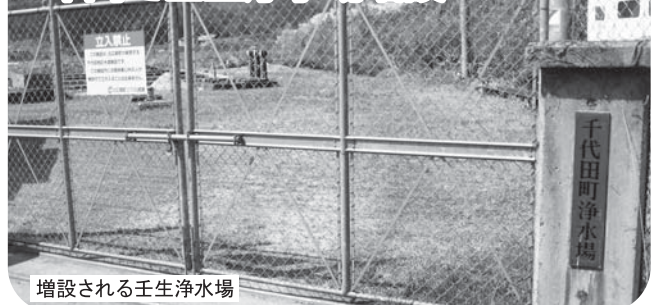
ホープタクシー 103万円



デマンド交通 調査検討委託料
今後の生活交通のあり方を考える

水道事業会計 21億5264万円

2年間で壬生浄水場増設



議案に対する質疑・討論

平成29年2月議会

議案に対する質疑

一般会計・特別会計

Q 防犯灯補助50000円の見直しは。

A 財政規模が縮小しており他の補助とバランスをみながら検討する。

Q 老朽化している豊平中央公民館の改修は。

A 骨格予算にはないが、今後対応したい。

Q 職員研修旅費の内容は。

A 協働のまちづくり、人づくりのため、積極的に付けた。

Q 解放団体補助金は見直しの対象になっているか。

A 対象になっている。

Q 浄水場増設工事が過剰投資にならないよう入札までに検討するか。

A 検討する。

Q 住民への周知は。

A シリーズもので内容、進捗状況を知らせる。
職員は地域に出ていくべ

きではないか。

A 旧町4地域が最初で、その後、振興会、旧小学校区単位に進めていく。

反対・賛成

平成29年度

一般会計骨格予算

反対討論

美濃孝二

第一は、巨額の滞納がある住宅新築資金貸付金の回収が例年どおりであり、十分な手立てが講じられていない。

第二に、マイナンバー関連予算は、住民にとっても行政にとってもメリットはない。住民負担は増えるばかりか、情報の漏えい、事務事業の負担増、そして無限なく予算をつぎ込むものでただちに中止すべき。

第三に、解放団体補助金52万円を特別扱いせず必要なら一般行政で行えばよい。

賛成討論

中村勝義

今回は必要不可欠な継続事業及び人件費、扶助費などの義務的経費や、行政運営上必要な経常経費を中心とした、骨格予算として提案されている。本格的な新規事業や主要事業等加えた政策的な予算は、町長選後肉付け予算として6月に予定されている。厳しい財政状況の中、予算を最適配分されており評価し賛成する。

平成29年3月臨時議会 議案に対する質疑

一般会計・特別会計

Q 臨時福祉給付金の減額はなぜか。

A 対象者の減による。

Q 生活保護扶助費の増は。

A 医療扶助が増えたため。
A 不妊治療の助成の減は。
A 18人の予定が10人になったため。

住民と行政が一体となってまちづくりをすすめるルール まちづくり基本条例を可決

ピックアップ

町の憲法といわれる条例を賛成多数（反対1）で可決、成立させました。その一部をピックアップ（条文の要約）します。

情報共有

第6条

町の持っている情報の提供を要求し、取得する権利を持つ。

第7条

意思決定過程の情報を明らかにする。

住民投票

第19条

直接住民の意思を確認するため、議決を経て、住民投票の制度を設けることができる。

町職員の人材育成

第34条の3

町職員は、地域の政策的課題に適切に対応していくため、あらゆる情報を収集し、政策形成能力の向上に努めなければならない。

条例制定における住民参加

第18条の2

重要な条例の制定・改廃を提案するときは、あらかじめ案を公表し、意見を求める。

危機管理体制

第31条

緊急時に、総合的かつ機能的な活動が図れるよう危機管理体制の確立に努める。

平成29年2月定例会 議案審査の結果

■全員一致で採択された議案・提案

人権擁護委員の推薦について	平成 29 年 度	北広島町体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例
北広島町地域再生法に規定する地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例		広島県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び広島県市町総合事務組合同約の変更について
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例		国民健康保険特別会計骨格予算
北広島町個人情報保護条例の一部を改正する条例		下水道事業特別会計骨格予算
北広島町道路占用料に関する条例の一部を改正する条例		農業集落排水事業特別会計骨格予算
北広島町法定外公共物等管理条例の一部を改正する条例		介護保険特別会計骨格予算
延滞金又は遅延損害金の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例		電気事業特別会計骨格予算
北広島町ひとり親家庭等医療費支給条例の一部を改正する条例		芸北財産区特別会計骨格予算
芸北高齢者生活福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		診療所特別会計骨格予算
芸北ホリスティックセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		情報基盤整備事業特別会計骨格予算
北広島町コミュニティ施設設置及び管理条例の一部を改正する条例		水道事業会計骨格予算
北広島町学校教育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例		豊平病院事業会計骨格予算
提案 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書の提出について		工事請負契約の締結について（(仮称)戸谷集会所新築工事）

■賛否が分かれた議案・提案

○ 賛成 ● 反対

議案名	議員名															審査結果			
		真倉	中田	久茂谷	加計	梅尾	森脇	室坂	中村	伊藤	浜田	藤井	蔵升	田村	美濃		大林	宮本	
北広島町まちづくり基本条例		○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2次北広島町長期総合計画の策定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
平成29年度北広島町一般会計骨格予算		○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度北広島町後期高齢者医療特別会計骨格予算		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

■請願・陳情等の審議・採決

件名	請願陳情者名	審査結果
平成29年度経営改善普及事業費等補助金交付要望書	北広島町商工会会長 砂原 正則	採 択
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情書	広島県医療労働組合連合会執行委員長 桜井 和春	採 択

平成29年3月臨時会 議案審査の結果

■全員一致で採択された議案・提案

副町長の選任の同意について	平成 28 年 度	一般会計補正予算(第6号)
監査委員の選任の同意について		国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
北広島町教育委員会委員の任命の同意について		下水道事業特別会計補正予算(第3号)
専決処分の承認を求めることについて(物品供給契約の変更契約を締結することについて)		農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)
北広島町個人情報保護条例の一部を改正する条例		介護保険特別会計補正予算(第4号)
北広島町税条例等の一部を改正する条例		簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
北広島町簡易水道事業を北広島町水道事業へ統合することに伴う関係条例の整理に関する条例		診療所特別会計補正予算(第3号)
北広島町コミュニティ施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例		情報基盤整備事業特別会計補正予算(第4号)
北広島町多目的研修集会施設の設置及び管理条例の一部を改正する条例		後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
北広島町情報基盤整備事業基金条例を廃止する条例		水道事業会計補正予算(第2号)
指定管理者の指定について		豊平病院事業会計補正予算(第2号)
町道の路線の変更について		
工事請負契約の締結について(北広島町立千代田中学校体育館大規模改修工事)		

一般質問

12議員が町政をたず

一般質問の順番と質問項目

質問時間30分、質問回数は制限なし。

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
9	梅尾泰文	①「評価された地域の学校」大臣表彰おめでとう ②危機迫る低空飛行と住民被害 ③保育園児の受け入れはどうか	12	美濃孝二	①「まちづくり基本条例」の要は職員の地域担当ではないか ②誰もが利用しやすいホープタクシーへの見直しを
10	宮本裕之	冬期間における除雪の課題を問う	13	真倉和之	①平成29年度一般会計予算を聞く ②北広島町の国道・県道・町道の将来に向けての改良について
10	中村勝義	どうなる 平成30年産からの米作り	13	蔵升芳信	①町民を乗せた船は何処へ行くのか ②地震の防災・冬場の高齢者安心対策への取り組みを問う
11	中田節雄	「ひろしま版ネウボラ」への対応は	14	浜田芳晴	次世代を考えるパート⑩
11	室坂光治	そば生産者の意欲向上について問う	14	伊藤久幸	①一期4年間の検証と目指す町の将来像は ②これからの北広島町の教育方針を問う
12	大林正行	①障害者差別の解消施策を問う ②通学路である歩道の除雪は	15	田村忠紘	4年間で出来た事と今後の課題

梅尾泰文議員

「評価された地域の学校」大臣表彰おめでとう

さらに取り組みを進める



- 問** 最近地域の子どもたちがイキイキ、はつらつしていても気持ちがいい。昨年12月「学校協働活動」が文部科学大臣表彰を受けたが、その内容はどういうものか。
- 答** 学校教育課長
小学生・中学生・高校生とも地域清掃ボランティアや、地域の行事等に積極的に参加していることなど。
- 問** 名誉なこと子ども達の励みになると思う。さて本町の教育方針である「体・徳・知」の取り組みの成果は出ているのか。
- 答** 学校教育課長
「体」は、体力運動能力調査で、小学校5年男子は県内2位、女子は7位。中学2年生は男女とも5位であった。昨年は小中、男女とも1位であった。「徳」は数値では表せない。
- 問** 「知」は県が行なう基礎調査で小中学校とも平均を上回っている。
- 問** 「ふるさと教育」とはどういうことか。
- 答** 生涯学習課長
自然や歴史、文化の素晴らしさを体感し、故郷に愛着を持ち、北広島町に貢献したいと思えるような学習の取り組み。
- 問** 地元中学校から地元高校への進学率はどうか。
- 答** 学校教育課長
平成27年度の芸北中学校から芸北分校への進学率は78%。千代田中学校から千代田高校へは40%。新庄高校を含めた地元高校への進学率は60・5%。
- 問** 地元高校をさらに活性化しながら進学率を高める取り組みは。
- 答** 学校教育課長
中高連携をさらに進める。



宮本裕之議員

冬期間の除雪課題を問う

住民生活に支障が出ないように対応する

問 冬季の豪雪は、交通渋滞や日常生活に大きな影響を与えるものであり、除雪体制の維持は極めて重要と考える。本町の除雪体制は、十分に確保されているか。

答 建設課長

除雪体制は、町内の建設業を主体に芸北地域7、大朝地域10、千代田地域15、豊平地域9の業者に請け負ってもらっている。豪雪に万全な対策ができればと言えないが、住民やボランティア等の協力も必要な場合も想定する。

問 高齢者の一人暮らしや身体の不自由な人への対応は。

答 福祉課長

家族、民生児童委員、介護事業者の協力や地域住民、シルバー人材への依頼で対応している。

問 支所ごとに小型除雪機を設置し、民生委員や

住民に貸与できるようにしたらどうか。

答 芸北支所長

住民に貸与できる除雪機があることが望ましい。

問 公共事業が減少する中で、除雪業者とオペレーターの育成が課題と考えるが、今後の対策は。

答 建設課長

災害対応や除雪等に建設業者の役割は極めて大きい。住民生活に支障が出ないためにも、建設業者の健全な育成と優秀な技術者の養成は、安心安全なまちづくりにおいて重要な。安定した公共事業の確保に努めたい。



除雪作業

中村勝義議員

どうなる 平成30年産からの米作り

国・県からの情報収集に努め速やかに対応する



問 米政策が平成30年産から大きく変わり、生産調整は産地の主体的な取り組みに委ねられ政府の関与は縮小する。国による需給調整の配分がなくなることなどで生産調整の責任感が低減したり、生産調整の徹底で地域に温度差が生じたりすると農家間に不公平感が生ずることも懸念される。米は産地全体の需給環境の影響を受けやすく、全ての産地で需給に応じた生産を確実に実施する必要があり、米価の安定なしには担い手の農業所得の増大も実現しない。政策転換の影響を受けやすいのは大規模経営農家である。

平成30年産からのコメントの見直しとなる施策は。

答 農林課長

広島県農業再生協議会と共有を図り、町の農業

技術部会においても対応について関係機関と協議を重ねている。今後も国・県からの情報収集に努め速やかに対応できるように準備していく。

問 農家への周知とその支援策は。

答 農林課長

国・県からの情報を整理し提供していく。県が示す収入試算においても非主食用米は主食用米を上回っており、水田活用の交付金が担保されれば経営の維持作物として振興を図れると考えている。

問 見直しを控え本年産米の対策は。

答 農林課長

県から本町へは米の生産数量を1万276tが決定された。これに基づき、北広島町農業再生協議会幹事会において町内の各地域農業推進対策協議会へ情報提供をした。

中田節雄議員

「ひろしま版ネウボラ」への対応は

子育て世代包括支援センターの設置を考える



問 広島県では全国に先がけて、子育て支援のため「ひろしま版ネウボラ」を考えているようだが、本町の体制づくりを問う。

答 福祉課長

核家族化や地域のつながりの希薄化の中で、安心して子育てができるよう、体制の構築に取り組み、関係課が連携をとり、平成31年度を目標に、子育て世代包括支援センターの設置を考えている。

問 子育て支援の一環として、ゴミ袋を配布しているが、配布状況はどうか。また、乳児健診の受診率はどれくらいか。

答 保健課長

家庭への初回訪問や乳児健診の前期と後期、1歳半健診時の4回で、30枚ずつ配布している。乳児健診については約96%となっている。

問 受診率は高いと思うが、受診していない方について、その要因と問題解決に向けて保健師のスキルアップも必要ではないか。

答 保健課長

これらの問題について「対応する」「受け止める」力量が必要であり、日々の努力と研修により、コーディネイトする力を上げ、信頼感の向上に努める。

問 核家族化が進行する中で、全ての問題を解決するのは困難な状況である。乳児健診の他にフォロー策はあるのか。

答 保健課長

1歳半健診の後には3歳児健診になるが、その間「2歳児教室」「育児相談」「子育て相談会」でフォロー・支援を行っている。

室坂光治議員

そば生産者の意欲向上について問う

そば刈り取り機械代金の助成を継続する



問 豊平地域は西日本一のそばの町としてそばの生産に取り組んでいる。そばは非常に水分嫌いな作物であり、長雨のような天候が続くと雑草が生えて減収の原因となる。

平成25年頃から天候不順や長雨・日照不足が続き、開花しても実がつかず、そば生産者は意欲を失いかけている。

このような現状を打開する策はないか。田んぼの排水対策に係る助成金を考えてほしい。そば刈り取り機械代金利用料の見直しを考えられないか。今年のそばまつりは30年目を迎え記念すべき年になるため、そば生産者が意欲を持てるような提案を望むが、どうか。

答 農林課長

水田の排水対策に対する国・県の支援策は、園芸作物を栽培目的とする土地改良を対象とし、そばの栽培を対象とした補助制度は現在ない。町では水田の暗渠排水等の改修・更新に対する支援策について要望している。

そば刈り取り機械代金については、そば生産研究会において試算され決定されており、町としても刈り取り助成を継続し支援していく。

答 町長

そばまつり開催について持続可能な取組みが必要になってきた。地域やそば生産者、実行委員会と協議していく必要がある。色々なやり方がある中で知恵を出し、行政の方も一緒に考える。

大林正行議員

車いす利用者はホープタクシーを利用できないため対策を

タクシー利用を含め制度を研究する



問 障害者手帳を示してもホープタクシーは半額の250円でなく300円であるがなぜか。

答 企画課長

路線バスの半額とタクシー利用の1割引きの中間的な位置づけで4割引にしている。

問 半額にする考えはあるか。

答 企画課長

意見を踏まえ検討する。

問 車いす利用の重度障害者はホープタクシーを利用できない。民間事業者が運行している車いすごと運べるタクシーを利用してもらい、ホープタクシー利用料金との差額を町が負担する制度はできないか。

答 企画課長

タクシー利用も一つの手段だと思う。利用者のニーズや制度のあり方を研究していく。

答 福祉課長

障害者手帳保持者であって、公共交通機関を利用しにくい全ての方にサービスを提供することが最善である。福祉サイドからタクシーが利用しやすいシステムを考えていく。

問 役場裏側の駐車場に障害者用の駐車スペースがあるが雪が積もっていると表示が見えない。「思いやり駐車場」の表示板を設置したらどうか。

答 総務課長

県へ登録したうえで設置する。

問 「思いやり駐車場利用証」はどこで交付しているのか。

答 福祉課長

福祉課及び支所で交付している。

問 通学路である歩道の除雪を

答 町長
本地地区の通学路である国道261号線の歩道の除雪はできないか。

答 町長
歩道の除雪は広島県と協議する。

美濃孝二議員

利用しやすいホープタクシーにし、料金は値下げを

平成29年度中に結論出できるだけ安い環境をつくる



問 往復1000円は高過ぎる。身近なホープタクシーにするため料金値下げを。

答 町長

値下げしてもそれ以上利用者が増えれば全く問題ない。事業者と協議し、平成29年度中には料金を含め結論を出す。できるだけ安い環境をつくる。

問 免許返納者や一人暮らしのお年寄りにはただちに割引を。

答 町長

その点も含め検討していく。

問 その他、利用しやすくするための改善は。

答 企画課長

○ガイドブックをつくり利用方法を周知する。

○日曜日は多くの病院が休みのため運行していない。事業所の人員確保、乗務員の労働、損益計算の判断が必要。

○乗り継ぎ中継点の改善は、利用状況、ニーズを

踏まえ運行時間の見直しを含め考える。

○観光周遊ルートへのホープタクシー活用は想定していない。

○事業者と町による「ホープタクシー改善委員会」などは作っていききたい。

まちづくり基本条例の要は職員の地域担当制

問 協働のまちづくりは、町職員が積極的に住民のところを足を運び、ともに考えること。地域担当職員制度の導入を。

答 町長

まずは人材育成を行い、専任職員を地域振興協議会に配置する。さらに業務の見直しで段階的に拡大していく。

答 企画課長

地域と話し合って決めるが、担当地域は各地区振興会等の単位になるだろう。

真倉和之議員

平成29年度予算編成と財政見通しを聞く

歳入に見合った財政運営を目標とする



問 平成28年度は総額10億7000万円の基金取り崩しを予定されており、平成29年度の予算編成でも財政調整基金4億5000万円の取り崩しを予定されているが、3年から5年先の財政見通しをどう考え進めるのか聞く。

答 財政課長

平成29年度骨格予算の歳入予算で総額8億1000万円位の基金の繰入を計上している。

近年の社会経済状況の変化で多額の財政出動を余儀なくされるが、基本的な考え方は確保できる歳入に見合った財政規模での財政運営を目標とし、当面の歳出を抑制し将来にわたり健全で持続可能な財政運営を行う。

問 国道433号線の早期改良を

地域戸谷の共盛地区の道

路工事は現在も進められているが、地域の要望は町道の接点までの早期な改良で、高齢化が進む地域を牽引する道路で終了年度を聞く。

答 建設課長

広島県の道路整備計画において地域連携を支える道路として位置づけがされており、整備計画としては平成32年度までに橋梁区間の供用を目指しており、平成29年度は橋梁の本体工事を実施する予定と聞いている。



共盛地区の道路工事

蔵升芳信議員

町民を乗せた船は何処へ行くのか

課題解決の先延ばしはしていない



問 「人口ビジョン・総合戦略」は計画年次が平成31年までの5年間である。達成目標も掲げられているが、この計画への取り組みは棚上げにされているのではないか。「町民の声を聞いて」あるいは今般作成された「長期総合計画」で」と常に行政課題解決の先延ばしがされていると感じている。

答 町長

「人口ビジョン・総合戦略」は町の人口減少対応に特化した、まちづくり計画だ。

人口減少に強い危機感を持っており、この計画をもとに町民と行政が取り組みべき目標を共有し、施策の推進に取り組んでいるところであり、課題解決の先延ばしをしていないとは思っていない。

いわゆる「町民を乗せた船」は箕野船長のもと何処へ行くのか定かでないと言える。

また、本年度12月末現在で芸北地域の出生数は2人と認識している。町全体の出生数も72人で、前年度の107人を下回る見込みであり、大変厳しい状況と受け止めている。

地方創生の取り組みが求められる中、本町の現状はそんな悠長な状況ではない。現に本年度これまで芸北地域で出生された子供は2人と聞く。行政課題の先送り、また、少子化の現状をどうとらえているか聞く。

今後これらの現状を踏まえ、計画に掲げた目標の実現に向けて全力で取り組む。



浜田芳晴議員

次世代を考えるパート①⑦

人材育成は大きな柱である

問 次世代にバトンを渡すには(物)と(人材)があり、物は新しく作ったり長寿命化を図りバトンを渡すことができるが、一番難しいのは人材の育成である。

答 町長は担い手大学の設置を考えているが内容を問う。

答 町長

第二次長期総合計画やまちづくり基本条例では人材育成は大きな柱である。地域活動や産業の担い手、未来を担う子供や若者の育成に対して、地域や各種団体と協働して取り組む。

問 豊平の中山間地の一番面白い取り組みがある。花の苗作りを通して、若者の育成とともに県内の産地を作った。
私は現在、担い手づくりの相談員としてミニトマト・ホウレンソウの経

営者の育成、山野草のオーブンガーデンをしている。
この活動に賛同する方、何かしたい方を育てる事業を企画してみてはどうか。

答 企画課長

地域や住民個々が自主的に必要性に基づいて行動を起こすことは大切で、支援は将来の人材育成や地域の活性化に寄与する。地域と町が課題を共有し、将来の在り方を見据えた取り組みが大切である。



ミズバショウ

伊藤久幸議員

1期4年間の検証と目指す町の将来像は

感動を新たに創造し、提供できるまちづくり



問 町政4年間の検証と平成29年度骨格予算案、目指す本町の将来像は。

答 町長

道の駅第2期整備見直し、高校生まで医療費助成、子育て支援、定住、観光、産業経済活性化対策に積極的に取り組んだ。骨格予算は、人件費、扶助費など義務的経費と若者定住、ふるさと夢プロジェクト等の継続事業で編成。

自然、歴史文化など本町の特性を土台とし感動を新たに創造し提供できるまちづくりを目指す。

北広島町の教育方針は

問 国を誇りに思う心、郷土愛、家族愛の指導は。

答 学校教育課長

学校指導要領に基づき指導。郷土愛はふるさと夢プロジェクト等で年間を通し指導。

問 いじめ、自殺等の問題解決は愛の教育から。

本町のいじめ件数は。

答 学校教育課長

平成27年度9件。28年度は14件発生。

問 全国学力テストが実施され小中学校とも平均的成績。継続実施の方針か。

答 学校教育課長

児童生徒の現状把握の指標となり、課題解決の指導改善に資すると思われる。

問 ①新庄小、大朝小の複式学級実施の解消策を。

答 学校教育課長

②今後の統廃合の問題は。①法的制度である。県には複式解消を要望していく。

問 保育所民営化は。②児童のことを考え保護者、地域の意見を尊重し進める。

答 福祉課長

定員割れ、老朽化がある。基本方針の最終整理をしている。

田村忠紘議員

防災無線から「きたひろネット」への切り替えはいつ

平成31年度で切り替える予定



防災無線
(屋外スピーカー)

答 危機管理監
現在、芸北、大朝及び豊平の各地域で防災無線を使用している。劣化が激しく部品入手も困難な状態である。平成31年で「きたひろネット」へ切り替える予定である。

問 現在も防災無線を使用している地域があるが、いずれも耐用年数が過ぎ、補修用の部品の供給もままならない上、住民からの苦情が多くなったと思う。
いつの時点で「きたひろネット」に切り替える予定か。



きたひろネットセンター

答 総務課長
「きたひろネット」への加入率が66・5%と低いいため、工事費の補助制度を活用して、全世帯加入を目指して加入促進を図っていく。

北広島町議会より、意見書を提出しました!!

平成29年2月10日、内閣総理大臣・厚生労働大臣・各担当大臣および広島県知事に対し、北広島町議会として次の内容の「意見書(※)」を提出しました。

- 一・医療・介護従事者等における、夜勤交代制労働の労働環境改善
 - (1) 1日8時間以内労働を基本とした勤務や、勤務間のインターバル確保、夜勤回数の制限など、労働環境改善の規制を設ける
 - (2) 夜勤交代制労働者の労働時間の短縮
 - (3) 介護施設等の1人夜勤の早期解消
- 二・医療・介護従事者を増員し、安全・安心なサービスの提供を実現
- 三・患者・利用者の負担軽減
- 四・財政を理由とした病床削減の中止と、地域に応じた病床の確保



趣旨・目的

この意見書は、医療や介護従事者の労働環境を改善することで医療・介護分野の人手不足を解消し、充実した地域生活を続けられる体制を構築することを目的としています。

また、これからは住民本位の「地域包括ケア」が求められるため、医療・介護従事者等の確保・定着は急務と言えます。北広島町議会として、北広島町民の生活を守るために、これからも活動していきます。

チェック

(※)意見書とは? …国や県等に対し、議会の意思を表明できる権限のことです。

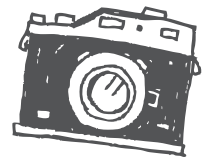


「写真はやわらかい印象のものを。」

「イラストにしてはどうだろうか。」

「質問や回答の色合いを変えてみては。」

…様々な意見が飛び交う会議室…



『皆さんに読んでいただける議会だよりを作りたい』

その一心で四苦八苦しながら作成に取り組んだ初めての広報特別委員会。議会での取り組みや、議員の紹介、その他にも町民に議会を身近に感じていただくためには、どのような議会だよりにするべきかを考えました。一文一句を委員全員で確認し、レイアウトにもそれぞれの思いを出していく。新人議員が多い今年度の広報特別委員会、前広報委員長や副委員長の案を参考に作成に取り組む委員。

これからの議会だよりも皆さんに読んでいただけるように願いを込めて、広報特別委員会委員がしっかりと作成していきまします。皆さま、よろしくお願ひ致します。

表紙の写真



表紙の写真は、4月16日に催された「壬生城つつじ祭り」の一コマです。

森づくり事業整備に通じて、壬生地区振興協議会が壬生城周辺を一新しての開催となったようです。

写真は、鮮やかなつつじとともに見える壬生の眺望をお借りしてきました。

壬生の町を見渡せることから、お城があった理由がよく分かる一枚です。

あとがき

新しい議会が、現職10人、新人6人、計16人の議員でスタートしました。北広島町の未来のために、切磋琢磨しながら研鑽(けんさん)を積んでまいります。

新メンバーによる議会広報特別委員会では新鮮で柔軟な発想をもって、町民の皆様が親しみやすく分かりやすい「議会だより」にしていこうと考えています。乞うご期待…というところで、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。皆様からのご意見もお待ちしております。

【ご意見や提案の連絡先】
050-5812-1862
(議会事務局まで)

【発行責任者】 議長 伊藤 久幸
 【議会広報特別委員会】 委員長 亀岡 純一
 副委員長 伊藤 淳
 委員 伊藤 弘美
 委員 敷本 光治
 委員 室坂 泰征
 委員 服部 しのぶ
 委員 山形 俊文
 委員 湊